

巻頭メッセージ

標準委員会の今期の活動状況



標準委員会 委員長
福丸 典芳

経営のグローバル化に伴い、マネジメントシステムに関する規格のISO化が促進されてきているのに伴い、企業はマネジメントシステムにかかわる規格を活用する必要があります。これに対応すべく、このような規格の情報の動向について、継続的に会員の皆様に提供することが当委員会の役割でもありますので、これらの動向については「品質」誌に掲載しますのでご覧ください。

なお、今回は今期の委員会活動状況について、次に紹介します。

1. ISO 9000 審査研究会

標準化委員会では、ISO 9000の審査登録制度に関する会員の増加に伴い、会員サービス向上を目的として、2000年改訂の影響が審査員の審査技術に対して、どのような課題があり、これをどのように解決するのかについての研究会を2000年12月に立ち上げ、月1回の活動を行っています。

研究員は、審査登録機関、審査員研修機関、学識経験者の関係者からなり、それぞれの立場でこの検討課題について議論を行い、特に有効性に関する審査方法、審査員の専門性、および審査員のQCに関する必要な知識とは何かなどについて集中的に議論を行いました。

今回この成果として中間報告を行うため、10月に山梨大学で開催される年次大会で2件発表します。会員の皆様のご意見をお聞かせ願いたいと考えていますので、是非大会へのご参加をお願いします。

なお、このあとも継続して研究活動を行い、2002年度中に研究報告書として研究結果をまとめ会員の皆様に公表する予定です。

2. ISO マネジメント公開講座

日本品質管理学会創立30周年記念行事の一つとして、ISO マネジメントシステム公開講座を開催中です。この目的はISO 9000, ISO 14000, 労働安全衛生マネジメントシステム, 情報セキュリティーマネジメントシステム, リスクマネジメントシステム, 企業倫理マネジメントシステムなど、グローバル化に向けたマネジメントシステムの構築を企業が余儀なくされおり、これらのマネジメントシステムをどのように構築し、活用し、効果的かつ効率的な運営をどのようにすべきかを、各界のリーダーに以下に示す内容で8回にわたり講義をしていただきます。会員の皆様の参加をお待ちしています。

なお、詳細については、ホームページを参照してください。

- | | | |
|-----|--------|-----------------------------|
| 第一回 | 8月24日 | 政府調達としてのISO マネジメント |
| 第二回 | 9月21日 | 全国160自治体が取得したISO 14000の意義とは |
| 第三回 | 10月12日 | ITビジネスと情報セキュリティー |
| 第四回 | 11月15日 | どうなる安全衛生マネジメント |
| 第五回 | 12月4日 | 次の新しいISO 14000は何か |
| 第六回 | 1月17日 | 事後的なリスクマネジメントによる問題 |
| 第七回 | 2月15日 | グローバル市場が求める企業倫理マネジメント |
| 第八回 | 3月15日 | メディアが見たISO マネジメント |